

平谷こども発達クリニック社事業所はぐくみ（児童発達支援）支援プログラム

作成日：令和7年3月15日

事業所理念		子どもたちの可能性を引き出し、個性を大切に育みます。 アセスメントを行い子供や保護者のニーズや課題を分析し、適切な支援を提供していきます。		
支援方針		遊びや日々の活動を通して身体自立や社会性を育む支援をします。 楽しみながら自己肯定感が最大限に引き出せる活動・支援を行います。		
サービス提供時間		午前9時30分から午前11時30分まで	送迎実施の有無	なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	・健康観察を行い、体調を把握します。・身の回りの整え、身辺自立ができるように支援します。手洗いなど身体を清潔に保ち、病気の予防や安全に配慮をします。・空間や時間、活動をく構造化し、分かりやすく環境を整えています。・障がいの特性に応じたSSTを行います。		
	運動・感覚	・活動を通して楽しみながら身体を動かし、バランスや姿勢、体幹を養ったり持久力を高めたりしていきます。・制作活動や指遊びなどを通して手指の巧緻性の向上を図ります。・リズム遊びを通して聴覚、動作、感覚に関する支援を行います。		
	認知・行動	・その日の予定を文字や絵で提示し、情報が適切に処理できるように支援します。・活動を通して数量、形、色、音の概念を育てていきます。・活動空間や時間の構造化を行い情報を適切に処理できるよう支援します。		
	言語・コミュニケーション	・活動やSSTを通して相手の言葉の意図を理解し、自分の考えを言語化できるように言葉の受容、表出を支援します。・コミュニケーションのツールとして絵カードや文字を構造化し分かりやすく提示します。・特性に応じた読み書きや数の支援を行います。		
	人間関係・社会性	・信頼関係を構築し、子どもに寄り添った支援をします。・ごっこ遊びや見立て遊びなどを通して役割分担やルールを理解し、社会性を育む支援をします。・集団活動に参加できるように職員が仲立ちをします。		
家族支援		・保護者からの相談に適切な助言やアドバイスをを行います。 ・安心して子育てができるよう、情報や支援の共有を図ります。	移行支援	・進学先の学校との移行支援に参加し情報交換を行います。・個々に応じた合理的配慮を考えていきます。
地域支援・地域連携		・医療機関、相談支援専門員、保育所等の子育て支援機関との連携を図ります。	職員の質の向上	・定期的に研修（個別支援計画、虐待・身体拘束、災害、感染対策など）を行います。 ・外部研修にも積極的に参加します。
主な行事		季節の行事（節分、お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など）、ぶどう収穫ほか 防災訓練（火災、地震、水害、不審者）		